

豊かな人間性の育成

質問		奈良県	全国
新聞やテレビのニュースなどに関心があると回答した子どもの割合	小学校	64.3(36)	66.9
	中学校	58.7(46)	64.2
人の気持ちが分かる人間になりたいと回答した子どもの割合	小学校	91.6(35)	92.0
	中学校	91.7(42)	92.7

平成22年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

全国平均に比べて、「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」「人の気持ちが分かる人間になりたい」と回答した子どもの割合が低い。

道徳教育の充実

各学校の道徳の時間に活用できる、奈良県の自然や伝統文化などを生かして作成したオリジナルの「奈良県郷土資料」をすべての小・中学校に配布しています。



また、奈良県道徳教育フォーラムを開催し、学校・家庭・地域が連携して取り組む道徳教育の在り方について協議しています。
※平成22年度は、奈良県道徳教育フォーラムに約100人が参加

人権教育の充実

「人権教育の推進についての基本方針」に基づき、人権尊重の社会づくりに向けて主体的に行動できる、確かな人権感覚を備えた子どもの育成を目指します。

平成23年度からは、人権に関わる知識・態度・技能を身に付けるための、発達段階を踏まえた系統的・体系的な人権学習教材の作成に取り組みます。

体験活動の充実

高校生社会参画活動の推進

高校生の社会性や自主性を育てるため、平成22年度より県内高校生による連絡会を設置し、社会参画活動を実施しています。

平成23年度は全国育樹祭や奈良マラソンなどでボランティア活動を行います。

※平成22年度は、10月を「清掃活動強調月間」とし、58校5,052人が参加



ふれあいフェスタ

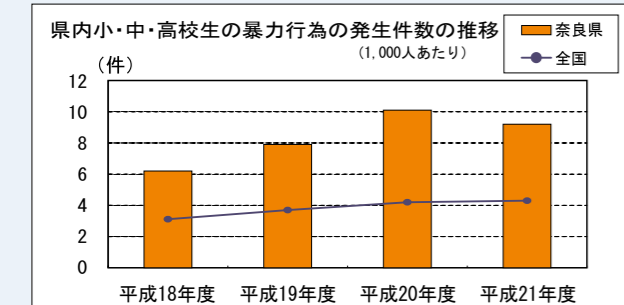
子ども、保護者、地域の人々が、うだ・アニマルパークにおいて、動物とのふれあいや動物に関する学習を通し、命の大切さを実感し、命の尊さについて理解を深めるため、ふれあいフェスタを開催します。



問題行動等への対応

質問		奈良県	全国
学校の規則を守っていると回答した子どもの割合	小学校	86.4(45)	89.2
	中学校	84.7(46)	90.1
いじめは、どんな理由があってもいけないと回答した子どもの割合	小学校	94.2(43)	95.0
	中学校	89.2(45)	91.1

平成22年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）



児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）

規範意識の向上

生徒指導ガイドラインの活用

「子どもの規範意識向上推進委員会」からの提言に基づき作成した、小・中学校と高校用の「生徒指導ガイドライン」を活用し、規範意識の向上や暴力行為等問題行動の減少に向けた取組を進めます。

全国平均に比べて、「学校の規則を守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した子どもの割合が低い。前年に比べて、暴力行為の発生件数は減少した。また、不登校児童生徒数は、公立小・中学校で全国平均を上回っている。

生徒指導支援室の設置

平成23年度から、子どもの規範意識の向上、暴力行為の減少や不登校対策の充実を図るため、生徒指導支援室を設置しました。生徒指導担当の指導主事・教員OBからなる巡回アドバイザーや、教員OB・警察官OBからなる学校支援アドバイザーによる学校への支援を行うなど、生徒指導上の諸課題の改善に取り組んでいます。

体力の向上

運動能力に関する調査（％）

	20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		ボール投げ(m)	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
小学校(男子)	47.16(42)	51.29	9.34(15)	9.38	25.04(33)	25.26
小学校(女子)	33.91(45)	39.65	9.67(25)	9.65	14.42(35)	14.58
中学校(男子)	78.72(43)	84.49	8.05(26)	8.04	20.32(46)	21.23
中学校(女子)	48.44(46)	56.45	8.91(26)	8.90	12.70(43)	13.29

平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（文部科学省）

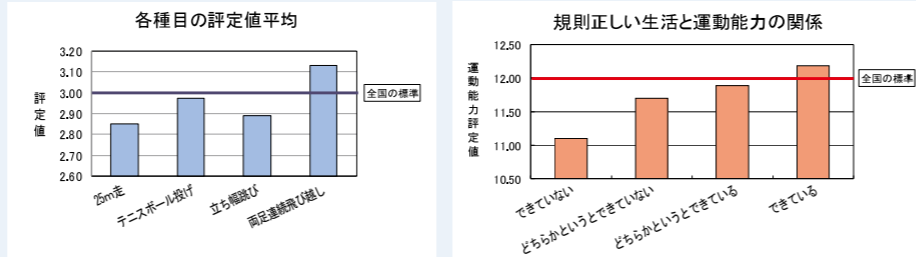
運動習慣の定着

体力向上の促進

子どもの体力向上のための拠点として、添上高校の日本陸連第4種公認陸上競技場を改修整備し、「トップアスリート等による親子トレーニング講習会」を開催します。同校では、小学生や中学生に積極的に陸上競技場を開放するとともに、温水プールを活用して「小学生水泳教室」も開催します。

また、より多くの小学生が参加できるよう「小学生陸上競技記録会」や「学童水泳記録会」の規模を拡大して実施します。

小学校の体力テストには、中・高校の体育科教員が測定を支援します。



平成22年度幼児の運動能力・生活習慣等調査

◎評定値：2008年幼児の運動能力全国調査の結果をもとに作成された運動能力判定基準表の値。5段階に評定した値で1～5で表される。3は標準的な発達を示す。
◎運動能力評定値：4種目の評定値を合計した値。

奈良県の幼児の運動能力は、全国の標準よりやや低い。生活習慣と運動能力の関係は、規則正しい生活ができている子どもの方が運動能力が高い。

運動能力等の調査・研究

平成23年度は、幼児の運動能力等実態調査のほか、運動場芝生化促進に係る調査・研究や児童生徒の体力向上のための調査・研究を実施します。

学校非公式サイト監視・調査研究

学校非公式サイト、いわゆる学校裏サイト等を検索し、不適切な投稿（書き込み）の監視・調査・削除等のネットパトロールを実施しています。また、学校が問題のある書き込みなどに適切に対応できるよう、具体的事案に対する助言や資料提供などを行っています。

不登校児童生徒への支援

不登校の子どもたちのための特別教室設置

不登校状態にある子どもたちが通う適応指導教室に、中学生を対象に支援する特別教室を設け、弾力的な教育課程に基づいた学習指導を行っています。子どもたちへの心理的支援と学力の充実を図り、社会的自立を目指します。

※奈良市、大和高田市において、モデル事業として実施

不登校の子どもたちに適切に対応するためのガイドラインの作成

平成22年度に「不登校対策委員会」を設置し、より効果的な取組について議論を深めています。不登校状態にある子どもたちへの支援に加えて、学校で適切に対応できるよう不登校の未然防止や早期対応に関するガイドラインを作成します。

1日に運動やスポーツをどのくらいしているか（％）

	30分未満		30分～1時間		1時間～2時間		2時間以上	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
小学校	18.0(23)	17.7	24.0(12)	21.9	25.2(21)	25.4	32.8(32)	35.0
中学校	21.6(7)	18.9	7.5(15)	6.9	12.5(42)	19.5	58.4(19)	54.7

平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（文部科学省）

全国平均に比べて、1日1時間以上運動している子どもの割合は低い。運動能力に関する調査では、小学生・中学生とも、ほとんどの種目で全国平均を下回っている。

運動場芝生化の促進

運動場の芝生化を促進するため、日本スポーツ振興センター助成金を活用して、小学校運動場を芝生化する市町村に補助を行います。

また、「運動場芝生化マニュアル」の活用や実践報告会・パネル展の開催などを通して啓発活動を進めています。

※平成21年度は小学校9校、平成22年度は県立学校5校が芝生化



健康教育の推進

健康課題への対応

子どもの心の健康や生活習慣等の課題に適切に対応するため、医師、保健師等の専門家を学校へ派遣し、保護者、教職員、児童生徒への講演会等を行っています。

※平成22年度は、小学校29校、中学校9校、高校2校、特別支援学校3校などに医師等を派遣



食育の推進

県内すべての学校・園で、それぞれの地域の特性を生かした食育に取り組んでいます。

食に関する指導の充実を図るため、平成22年度は小・中学校を対象としたDVD教材と資料集を作成しました。

※県内すべての小学校、中学校、特別支援学校に配布



チャレンジ運動フェスタ

各小学校では、県教委のホームページ「外遊び、みんなでチャレンジ!」を通して、8の字とびやペアなわとび等に取り組んできました。

その成果を発揮して記録に挑戦したり、親子で達人の技に挑戦したりすることで体力の向上を目指すチャレンジ運動フェスタを開催します。

